

三陸新報

三陸新報社
〒988-0141
気仙沼市松崎柳沢228-100
電話 0226 (22) 6700(代)
FAX 0226 (23) 6100
URL http://www.sanrikushimpo.co.jp/
e-mail news@sanrikushimpo.co.jp
© 三陸新報社 2011年

みんなのがんばろう

「ゆっくり来店を」

待望の一般給油開始

ガソリン10、20リットル 初日は長蛇の列

東北関東大震災から十二日が過ぎた二十三日、気仙沼市では一部のガソリンスタンドで一般車両向けの給油が始まり、大型食料品店では通常に近い形で店舗販売を再開するなど、混乱は収まりつつある。一方、混乱に紛れての窃盗などが発生し、被災者は二重のショックを受けている。二十二日午後六時現在の死者・行方不明者は一千二百六十八人に達し、火葬が間に合わず、一時的な集団土葬に向けた準備が進められている。

ガソリンの一般販売は、沼バイパス給油所、東を開始したのは気仙沼北宇佐美気仙沼バイパス給油所。

東北関東大震災



ガソリンの一般販売を開始した気仙沼商会松川店

松川店では、午前八時から午後三時まで一般給油を実施。ガソリン、軽油ともに一台十リットルから二十リットルの給油が可能で、一リットル当たりガソリンは百五十円、軽油は百三十五円で現金だけで販売している。同店によると、一般販売開始の初日は午前四時ごろから来店し始め、JR気仙沼駅方面に向けて長蛇の列ができ、午前十時ごろにはスーパー片浜屋古町店まで車が数珠つなぎになった。給油に訪れた気仙沼本吉町大谷の後藤美千子さん(五四)は震災以来、市内館山の姉の家

に身を寄せているという。「家は津波でなくなってしまうが、家族のアルバムだけでも見つけたい」と思い、ガソリンを入りに来た。息子と二人で大谷に向かい、「涙を浮かべながら話した。一般給油は二十三日から毎日実施し、午後三時が在庫切れになっ

た時点でその日の販売を終了する。午後四時から同六時までは緊急車両だけの給油となる。同店従業員は「多くの人たちが待ちに待った一般給油なので、燃料が提供できることをうれしく思う。燃料は次々と届くので交通渋滞にならないよう、あせらずに来店してほしい」と協力を呼び掛けている。

復興へ早急な対応を

菅原市長が政府に要望

東北地方太平洋沖地震、気仙沼市で行われた。来市した阿久津仙沼方面視察が二十三幸彦内閣府大臣政務



大臣政務官に要望書を手渡す菅原市長

官、市村浩一郎国土交通省大臣政務官に菅原市長は復旧と復興に向け被災者再建策の充実などを要望した。来市したのは阿久津大臣政務官ら八人。視察前に防災センターを訪れ、菅原市長から要望書を受け取った。菅原市長は商港沿岸部の十基の石油タンクなどがなくなったことや、魚市場周辺の水産加工場がなくなり、多くの人が会社や仕事を失ったことなどを訴え「早急な対応をお願いします」と述べた。要望書は復旧・復興までの長期間を見据えた食料、燃料の十分な確保と供給、被災者に応じた仮設住宅の確保と早期建設、半壊や浸水などで使用できない建物の公費解体など二十一項目。

治安維持へ警戒強化

気仙沼署 信金で400万円盗まれる

震災直後の混乱に乗じて、ガソリン盗難などが発生し、気仙沼署職員が確認に入ったところ、金庫の中にあつた約四千万円が無くなっており、盗難届を出した。金庫の電子ロックが震災で壊れていたらしい。管内では、被災して放置された車両の給油口をこじ開け、ガソリンを盗む事件が発生しているほか、一部損壊した家屋や事業所に侵入して貴重品を持ち出す略奪行為も起きている。気仙沼署には、県警本部から機動隊員と職務質問のプロフェッショナルが派遣され、近畿から応援にやってくる約百四十人の警察官とともに行方不明者の捜索、治安維持に努めている。

デマも飛び交う

佐藤宏樹署長は「デマやネット情報をのみにせず、正しい情報を確認して冷静に行動してほしい。被災した店舗や事業所は、進入口を塞いだり、立ち入り禁止の看板を立てるなどして被害予防を」と話している。警察機能が置かれていないため、県は土葬を許可し、市も斎場近くの鹿折みどりのふれあい広場で準備を進めて

し尿処理を再開

一般家庭向け

市の発表によると、収容した遺体は五百八十八人、行方不明者七百五十人。遺体のうち約百二十人は身元が不明のまま。犠牲者が多すぎて火葬が追いつかないため、県は土葬を許可し、市も斎場近くの鹿折みどりのふれあい広場で準備を進めて

市立病院は呼吸器、循環器、小児、外科でも一般診療を始めた。受け付けは午前八時から同十一時まで。大島と魚町を結ぶ緊急輸送船(片道三百円)は、魚町を午前十時、正午、午後三時に出発する。電気は、落合小や面瀬小・中まで通電した。し尿処理場にも通電し、一般家庭のし尿汲み取りを再開した。セージを発信した。

お見舞いとお知らせ

この度の地震津波により被災された皆様様に心からお見舞い申し上げます。南三陸農協の施設においても建物の流失・崩壊、いまだ停電、電話不通等が続いており、組合員利用者へのサービスが十分出来ない状況にありますが、一日も早い復旧に向けて取り組んでいます。以下現在の業務内容をお知らせいたします。

- ①金融部門
三月十五日より各支店等にて一十万円を限度として貯金の払い出しのみ開始(ATMは使用不能)。収納は行わず。十六日からは、十時～十四時まで営業しています。
- ②共済部門
被害の受付のみを行っていましたが、体制が整い三月二十三日から損害調査を開始しています。今回の地震津波による自動車共済の車両共済は支払いの対象になりません。生命・建物共済掛金の払込みは、十二ヶ月の払込猶予期間の延長を行い掛金納入後に遡って保障されます。
- ③自動車共済について
五月十一日まで払込猶予期間を設定しておりますのでお問い合わせください。
- ④営農経済部門
営農センター(経済店)において、災害による営農相談を受け付けております。階上給油所は、消防等の緊急車両(JA南三陸緊急対策車両含む)のみに給油して、一般車両には給油できません。

南三陸農業協同組合

平成二十三年三月二十四日

災害FM開始

気仙沼市出身の斉藤恵一さんが登米市で開設している「登米コミュニティエフエム」が二十三日、気仙沼市で臨時FM局の放送を開始した。周波数は77.5メガヘルツ。市が発表している復旧状況や避難所の情報のほか、店舗の営業情報などを発信している。初日は菅原市長が市民に向けてメッセージを発信した。

新生活へ一歩

公立一般入試合格発表

延期となっていた公立高校一般入試の合格発表が、二十三日午後三時、各校一斉に行われた。九日に一般入試を受けた受験生にとって待ちに待った発表。合格者の中には震災で自宅や家族を失った生徒もいて、新生活へ思いを馳せる表情にも複雑なものが入り交じる発表となった。

被害が大きかった本吉地区では、各学校に地区内全校分の合格者の受験番号が張り出された。気仙沼西高でも気仙沼、気仙沼向洋、本吉響、志津川の合格者が発表され、避難生活を送っている受験生も駆けつけ、合格者の受験番号が張り出され、合格発表を行った。

この日は、気仙沼市役所でも地区内各校の合格者が掲示された。学校の損傷が激しい気仙沼向洋は階上中学校で合格発表を行った。入学式は各学校とも延期する。四月二十一日をめどに学校ごと準備を進めているが、県



手を取り合って合格を喜び受験生(気仙沼西高校)

教委は「被災状況に日、学校から連絡されよっては、さらに先延ばしになる学校もあるのでは」と説明している。入学式の日程は後校では、二次募集を受

「さっぱりしました」

避難所で散髪ボランティア

南三陸

南三陸町で最も多く避難者が身を寄せている町総合体育館「ベイサイド・アリーナ」で二十一日、町内の理容師がボランティアで避難者の散髪をした。

同町志津川十日町の小山直さん(四二)「理容ポプラ店長」、佐々木正勝さん(六七)「佐々木理容店長」、同大森の

武山孝さん(五九)「カットハウス・タケヤマ」の三人。いずれも店が流されたが、避難所生活の人たちの気分転換になればと立ち上がった。

体育館一階にブルーシートとパイプイスで設けた特設散髪台では避難者と談笑しながらハサミを入れていた。

鈴木とし子さん(五二)は「以前から短くしたいと思っていました。さっぱりして気分転換になりました」と笑顔を見せながら、小山さんらは「髪を必要があるため風呂が設置されている避難所を回っています。被災者の心のケアや気分転換になれば」と話していた。

歯科医も無料往診

南三陸町歌津伊里前、小野寺歯科医院の小野寺勉院長(五八)らが二十一日、避難所となった南三陸町総合体育館で、避難者の歯科無料往診を開始した。

小野寺院長のほか、同町志津川大森の阿部歯科医院の阿部公喜院長(五四)が、栗原市内の歯科医院から移動診療車を借り、高齢者などを中心に、入れ歯の手入れや歯周病などをチェックした。

避難生活している志津川天王前、千葉養二さん(六八)は「避難生活中に入れ歯が欠けてしまった。これで安心し



移動診療車で歯の検診が行われた

け付ける。申込期間は二十八日から四月四日まで、同五日に試験が行われる。

気仙沼市内でも電気水道の復旧に伴い理容所などが営業を再開している。市内上田中一丁目のカットサロン「リング(加藤憲治代表)では、無料のシャンプー(洗髪)サービスをはじめた。

加藤代表は「困っているときはお互い様。多くの人に恩返ししたい。気軽に来てほしい」と話していた。無料シャンプーは四月二十日まで。



世間話をしながら散髪する小山さんら

生島さんが目黒で街頭募金

気仙沼市出身のフリーアナウンサー生島ヒロシさんが二十一日、東急東横線中目黒駅前、気仙沼市を支援しようと街頭募金を行った。

目黒区によると、生島さんは妹夫婦の安否不明にも関わらず、終始気丈で「小さな子どもが十円玉を出して、僕にがんばってください

いと声をかけてくれた。本当にうれしかった」と目を潤ませる一幕もあったという。

生島さんは被災者へのメッセージとして「今、大変な状況だと思いますが、いろんな形で日本人、世界の人たちはヘルプしようとしていますので、気持ち折れないように、くじけないで、みんな励ましあいながら、与えられた命を大切に生きて残っていたください」と話していた。

本店は本吉に南三陸農協JA南三陸(高橋正組合長)は、本店を気仙沼市本吉総合支所内に設置した。

本店は災害対策本部農センター・経済店で災害による営農相談を

緊急照会窓口はフリーダイヤル0120・32・3014または、中田支店(電話0220・35・2100)まで。受け付けは午前九時から午後五時まで。

訂正 二十三日付、各種情報金融機関は仙北信用組合でした。お詫びして訂正致します。

亡くなられた方々

(再掲載)(敬称略)

気仙沼市内で亡くなられた方々(判明分) の氏名などを安置所ごとに掲載してきましたが、発表の中で氏名や住所の訂正、変更が数多くありましたので再掲します。	大塚夕起 本吉町前浜市 佐藤しなを 波路上杉ノ下 阿部澄子 最知北最知 日野スエ子 最知川原 岩淵真名 本吉町府中 三浦徳治 波路上杉ノ下 千葉泰河 波路上明戸 中澤雄二 波路上瀬向 遠藤伊勢治郎 波路上明戸 明戸 中澤孝一 幸町 中澤恵美子 〃 村上興壽雄 東八幡前 原田茂夫 南町 千葉のり子 唐桑町釜石下 齋藤淳子 潮見町	吉川智則 茨城県太田市 横田徳郎 河原田 熊谷つえ子 浪板 小野寺弘 〃 小野寺紅波 〃 小野寺栄実 〃 小野寺光芽 〃 山本毅 南郷 赤坂シン 館山 菅原文男 東中才 齋藤達夫 赤岩老松 横山さかえ 田中前 熊谷いさほ 百目木 熊谷はしめ 岩月千岩	昆野秀雄 魚町 昆野陽子 〃 三浦悦子 東みなと町 三浦沙絵 〃 中村美智子 〃 佐々木俊雄 松崎北沢 今野節子 赤岩港 小野寺正博 松崎片浜 山本毅 南郷 赤坂シン 館山 菅原文男 東中才 齋藤達夫 赤岩老松 横山さかえ 田中前 熊谷いさほ 百目木 熊谷はしめ 岩月千岩	下 小野寺建典 波路上明戸 横堀米子 波路上杉ノ下 佐藤恒子 〃 吉田深智 波路上向原 小野寺サチ子 波路上明戸 三浦正幸 〃 三浦いよ子 〃 三浦正勝 波路上杉ノ下 三浦和子 〃
--	---	--	--	---

遺体は遺族に引き取られていない場合もあります。安置所は新城市、白山、階上、面瀬各小学校、大島公民館、唐桑体育館、本吉響高校です。